

「継続は力なり」という言葉があります。
趣味で描き始めた絵画も、時代の移り変わりで具象から抽象の傾向があり、ついにはいけなくなりやめようと思うときが幾度かありました。その度に頭をよぎるのがこの言葉でした。奮起材料にもなり、伊丹・川西・池田市展、猪名川町展、兵庫県展、新創美術展などの公募展に応募したりして、気付けばすでに40年が過ぎています。絵画教室にも入会しておりますので、作品も随分増えました。



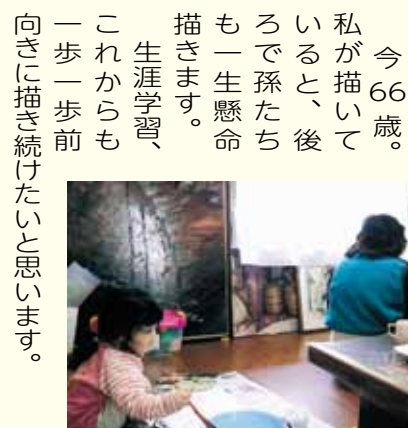
▲「奈良奥山」
M50 号油彩

今年4月29日から5月4日まで、京都市美術館で「第50回記念新創美術展」が開催されます。その一室で

長島 千賀子さん
(柏梨田)



アーティスト



▲「ある光景」
F20 号油彩



▲「玉ネギ」
F8 号水彩

※「瞬」の掲載希望者を随時募集中。詳細は町ホームページの募集情報を参照してください。

私のオススメ

～猪名川町観光ボランティアガイドがご案内～

食べて歩いて わが町を知る

今月の担当ガイド



大月 綾子さん

私たちボランティアガイドは、

- ① 多田銀銅山標準コース（悠久の館～青木間歩）
- ② 多田銀銅山ロングコース（悠久の館～瓢箪間歩）
- ③ 多田銀銅山峠越えコース（悠久の館～道の駅）
- ④ 木喰仏・屏風岩コース（道の駅～ふるさと館）
- ⑤ 歴史街道散策コース（道の駅～悠久の館）
- ⑥ 大野山岩めぐりコース（大野アルプスランド）
- ⑦ 大島まち歩きコース（大島であい公園～八坂神社）

と年々ガイドコースを増やしながら、町内外のたくさんの人に楽しんでいただけるよう町の魅力をお伝えしてきましたが、7つのコースの中でも、最も人気の高い多田銀銅山、木喰仏に係るお菓子をいくつか紹介し

たいと思います。
豊臣秀吉の黄金伝説をモチーフにして作られた「金小判」は、もち米を焼き上げたふ焼き煎餅で、パリッふわあとした歯ごたえがくせになります。



▲金小判

多田銀銅山では、銀・銅以外にも産出された鉱石は多く、斑銅鉱、方鉛鉱、黄銅鉱、藍銅鉱、青鉛鉱などをかたどった「鉱石物語」は、寒天とグラニュー糖を煮詰めて着色し、固めたものを切ってから自然乾燥させたものです。ブルーやピンクの彩がともきれいに仕上がっています、和菓子ではめずらしいカラフルな色づかいで子どもにも大人気です。



▲鉱石物語

江戸時代後期に猪名川町に立ち寄った90歳の木喰明満上人をイメージした「木喰蒸し饅頭」は町の特産品の代表ともなってい



▲木喰蒸し饅頭

もち米、粟、山芋、小豆を使った、焼き印の押された饅頭



▲木喰焼き饅頭



▲やないづ

で、蒸したてを味わえばとてもほっこりした気分になります。「木喰焼き饅頭」は、桃生地、白小豆の粒あんが入っていて、上品なところが私好みです。現在の楊津地区が昔「やないづ」と呼ばれていたことから、名づけられた、抹茶あんとしーズンが入った饅頭の「やないづ」は、私が町をご案内するなかで見つけたおすすめのお菓子です。このほかに、の美味いお菓子が道の駅にがわなどで販売されています。これらのお菓子を口にしながら、黄金伝説や木喰さんの話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ 産業観光課 ☎ 766 - 8709

道の駅 いながわだより

今月のピックアップ野菜

わらび（道の駅での入荷時期 4月下旬～5月上旬頃）

里山に自生するシダの一種で、若芽の部分の春の山菜として食します。根に多量のだんぷんを含み、わらび餅の原料となるワラビ粉が作られます。

【選び方】産毛が多いものが新鮮です。茎が緑色で太く短く、先端が丸く曲がっているものが良いです。

【下処理】非常に強いアクがあるので、十分なア



ク抜きが必要です。鍋にワラビと重曹または、灰を入れて熱湯を注ぎ、一晚そのまま浸け置きます。【調理】お浸しや、天ぷら、炊き込みご飯の具に、たけのこなどの春山菜と合わせて煮物にしてもおいしく食べられます。

5月の主な出荷野菜 生しいたけ・ほうれん草・たけのこ・ふき・いちご・わさび菜・スナップえんどう・きぬさやえんどう・わらび など

＜5月のイベント＞

◆木喰そばまつり

▶とき 5月3日（土）・4日（日）・5日（祝・月）、午前10時～午後3時

▶内容 そばの手打ち実演・販売、紙芝居上演（3・4日）、いなぼうじゃんけん大会（5日のみ）など

▶問合せ 道の駅いなわ ☎ 767 - 8600

猪名川幼稚園

こども作品コーナー

▲ぱらぱらーんのめりーごーうんごがたのしかったよ。
川越 みのりさん（年少）



▲おたまじゃくしがすいすいおよいでいたよ。
稲岡 健翔さん（年少）



▲おもいがびつくりしたり、めがねをかけたらしいよ。
砂田 泰佑さん（年少）



▲ぱらぱらーんをばたばたしたのがたのしかったよ。
蘆田 琉衣さん（年少）